

## 緊急避妊薬の検討状況

厚生労働省 医薬・生活衛生局

# 緊急避妊薬の再検討の経緯

- 平成28年11月 第3回医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議
  - ・緊急避妊薬（レボノルゲストレル）のスイッチOTC化は時期尚早とされた。

（指摘された主な課題）

- ・ インターネットでの販売を含め、安易に販売される懸念のほか、悪用や濫用等の懸念がある。
- ・ 避妊も含めた性教育の遅れなど使用者のリテラシーが不十分である。
- ・ 販売を行う薬剤師が、女性の生殖や避妊、緊急避妊に関する専門的知識を身につける必要がある。

→ 課題の1つとされた、薬剤師の資質向上については、女性の性、避妊、緊急避妊薬等に関する研修を実施してきているところ。

- 令和3年5月28日 市民団体「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト」より、緊急避妊薬（レボノルゲストレル）のスイッチOTC化の再検討に係る要望提出。

# 医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議 (スイッチOTC評価検討会議)における検討スケジュール

## ○令和3年6月7日 第16回 スイッチOTC評価検討会議

- ・ 緊急避妊薬に係る前回検討からの経緯及び現状等の説明
- ・ 緊急避妊薬に係る海外状況調査の実施について説明

## ○令和3年10月4日 第17回 スイッチOTC評価検討会議

- ・ 再検討までの経緯及び要望内容
- ・ 平成28年に指摘された課題を巡る対応状況等

(関係領域の専門家等からのヒアリングを含む)

- 緊急避妊薬に係る海外状況調査結果を踏まえ、スイッチOTC評価検討会議でスイッチOTC化に係る課題・解決策等を検討する予定。

# 第17回スイッチOTC評価検討会議における議論

## 1. 再検討までの経緯及び要望内容

- ・ 緊急避妊薬のスイッチOTC化の再検討に係る要望内容について、市民団体「緊急避妊薬の薬局での入手を実現する市民プロジェクト」より説明。

## 2. 平成28年の検討当時に指摘された課題を巡る対応状況等

- ・ 以下について、事務局より説明。
  - 小学校、中学校及び高校における性に関する指導内容、教科書等における記載例について（文部科学省より説明）
  - 薬剤師の資質向上の取組について
- ・ 日本産婦人科医会・日本産婦人科学会より、産婦人科における緊急避妊薬処方の現状について説明。
- ・ 日本薬剤師会より、オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修内容・実施状況の説明、緊急避妊薬を薬局で提供する上での考え方について説明。

## 3. 今後の予定

- ・ 海外状況調査の内容について、事務局より説明。

# 海外状況調査について

## (1) 調査目的

緊急避妊薬のOTC化の再検討にあたって、医師の処方箋なしに薬局等で購入可能な国々について、購入可能となった背景・事情、販売方法、その後の効果・影響等、OTC化の再検討に資する周辺情報を詳細に調査。

## (2) 調査対象国

販売形態（処方箋医薬品、OTC、BPCの別）や地域性を考慮し、主要調査対象国6カ国以上を選定。

## (3) 調査項目

- 販売状況等  
緊急避妊薬の販売時の取扱い、薬剤師・薬局の役割・義務、未成年等への販売時の対応、虐待・性暴力被害が疑われる場合の対応等
- 使用状況・効果・影響等  
緊急避妊薬の使用状況、副作用・事故等の発生状況等
- 背景・周辺状況等  
医療・行政サービス等へのアクセス状況、緊急避妊薬以外の避妊方法、宗教・信条・文化等の社会的な背景、性教育の状況

## (4) 調査スケジュール

令和3年9月～令和4年1月

- ・第5次男女共同参画基本計画の閣議決定（令和2年12月25日）  
（抜粋）

第7分野 生涯を通じた健康支援

＜施策の基本的方向と具体的な取組＞

1 生涯にわたる男女の健康の包括的な支援

（2）具体的な取組

ア 包括的な健康支援のための体制の構築

- ⑤ **予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が、緊急避妊薬に関する専門の研修を受けた薬剤師の十分な説明の上で対面で服用すること等を条件に、処方箋なしに緊急避妊薬を適切に利用できるよう、薬の安全性を確保しつつ、当事者の目線に加え、幅広く健康支援の視野に立って検討する。**なお、緊急避妊薬を必要とする女性には、性犯罪・性暴力、配偶者等からの暴力が背景にある場合もある。そのような場合を含め、ワンストップ支援センターや医療機関等の関係機関を紹介する等の連携が重要である。また、義務教育段階も含め、年齢に応じた性に関する教育を推進することも重要である。さらに、性や妊娠に関し、助産師等の相談支援体制を強化する。【内閣府、文部科学省、厚生労働省】

- ・女性活躍・男女共同参画の重点方針2021の本部決定（令和3年6月16日）  
（抜粋）

Ⅲ 女性が尊厳と誇りを持って生きられる社会の実現

（2）女性の生理と妊娠等に関する健康

○緊急避妊薬

**予期せぬ妊娠の可能性が生じた女性が、緊急避妊薬を処方箋なしに薬局で適切に利用できるようにすることについて、令和3年度中に「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」で検討を開始し、国内外の状況等を踏まえ、検討を進める。【厚生労働省】**

- ・経済財政運営と改革の基本方針2021(骨太方針2021)の閣議決定（令和3年6月17日）  
（抜粋）

第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉

～4つの原動力と基盤づくり～

5. 4つの原動力を支える基盤づくり

（2）女性の活躍

**緊急避妊薬を処方箋なしに薬局で適切に利用できるようにすることについて、本年度中に検討を開始し、国内外の状況等を踏まえ、検討を進める。**